SONY

4-170-775-**01**(1)

ウォータープルーフケース
スポーツパック

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

SPK-HCF

http://www.sony.co.jp/

この説明書は、古紙70%以上の再生紙と、VOC (揮発性有機化合物)ゼロ植物油型インキを使用しています。

必ずお読みください

- 必ず事前に、正常に動作するか、水漏れはないかを確認してください。
- 万一、スポーツパック(以下**本機**とする)の不具合により水漏れ事故を起こした場合、内部機材(デジタルビデオカメラレコーダー (以下**カメラ**とする)、バッテリーなど)の損傷、および記録内容や撮影に要した諸費用などの補償は、ご容赦ください。

主な特長

- 本機はソニーのカメラ対応のスポーツパックです。
  対応カメラ：
  HDR-CX550V/CX550/CX120/CX106/CX105/CX100/CX12/CX11/CX7/CX6,
  HDR-XR550V/XR550/XR520V/XR520/XR500V/XR500/XR350V/XR350/XR200V/XR200/XR155/XR150/XR106/XR105/XR101/XR100,
  HDR-SR12/SR11/SR10/SR8/SR7/SR5,
  HDR-UX20/UX19/UX10/UX9,
  HDR-HC9/HC7/HC5,
  DCR-SX60/SX50/SX41/SX40/SX31/SX30,
  DCR-SR220/SR210/SR88/SR87/SR85/SR78/SR77/SR75/SR68/SR67/SR65/SR58/SR57/SR55/SR48/SR47/SR46/SR45/SR38/SR37/SR36/SR35,
  DCR-DVD910/DVD850/DVD810/DVD710/DVD708/DVD650/DVD610/DVD608/DVD510/DVD450/DVD410/DVD310/DVD308/DVD306/DVD150/DVD115/DVD110/DVD109/DVD108/DVD106,
  DCR-HC62/HC54/HC53/HC52/HC51/HC48/HC47/HC45/HC38/HC37
  * 対象のカメラはすべての国／地域で取り扱いしているわけではありません。
- お手持ちのカメラに本機を取り付けると、雨天時や海辺(水中では水深5 m以内)での撮影ができます。

安全のために

ソニー製品は、安全に充分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、火災などによる人身事故が起きるおそれがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- **安全のための注意事項を守る**
- **故障したら使わずに、ソニーの相談窓口へ相談する**
- **万一異常が起きたら**

変な音やにおい、煙が出た場合は

❶ 電源を切る
❷ ソニーの相談窓口へ相談する

警告表示の意味

この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠注意　この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

禁止　行為を禁止する記号

⚠注意　下記の注意事項を守らないと、**けが**をすることがあります。

衝撃を与えない
ガラス部分が割れて、けがの原因となることがあります。

禁止

取り扱い上の注意

- 本体の前にあるフロントガラスに強い衝撃を与えないでください。割れることがあります。
- 海辺や海上での本機の開閉はできるだけ避けてください。カメラの取り付けやテープ、"メモリースティック デュオ"、ディスクの交換などは、湿気の少ない、潮風のあたらない場所で行ってください。
- 本機を水中に投げ込まないでください。
- 波が高い場所でのご使用は避けてください。
- 次のような環境でのご使用は避けてください。
  –高温多湿な場所
  –40 ℃を超える温水の中
  –0 ℃以下の場所
  結露、水漏れ、カメラの故障の原因になります。
- 湿度の多いところでのカメラの取り付けは避けてください。結露の原因となります。
- 周囲温度が35 ℃を超えるときのご使用は、連続1時間以内にしてください。
- 炎天下に長時間放置しないでください。やむをえず直射日光のあたる場所に置く場合は、上からタオルなどをかけておいてください。

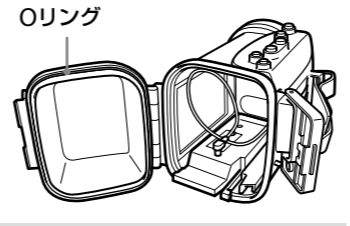
本機にサンオイルなどが付着したときは、必ずぬるま湯でよく洗い流してください。付着したまま放置していると、本機表面の変色やダメージ(表面のヒビなど)の原因となります。

水漏れについて

万一内部に水滴などが確認された場合は、ただちにご使用を中止してください。
カメラがぬれた場合は、至急ソニーの相談窓口へご相談ください。修理費用はお客様のご負担となります。

Oリングの取り扱いかた

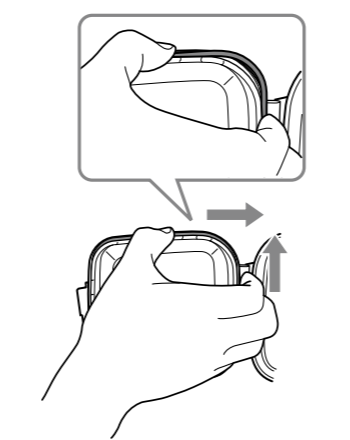
Oリングとは？

Oリングを使って本機などの機器の防水性を保ちます。

Oリングのメンテナンスは非常に重要です。正しく取り扱わないと、水漏れの原因になります。

Oリングの取り扱いかた

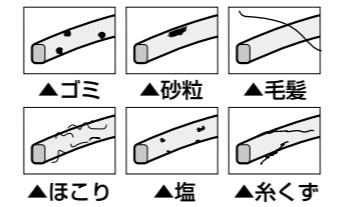
Oリングを取り付ける

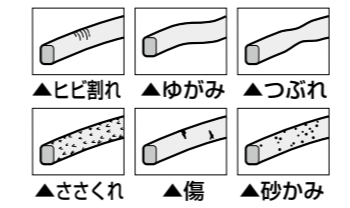
Oリングの取り付けは、砂やほこりのない場所で行ってください。

1 Oリングを取りはずす。

- Oリングを取りはずすときは、図のようにOリングを押さえつけながら、矢印の方向にずらしてください。Oリングにたるみができますので、簡単に取りはずすことができます。
- Oリングを取りはずす際、爪によってOリングを傷つけないようご注意ください。
- 先のとがったものや金属などは、本機の溝やOリングに傷をつける恐れがありますので、使用しないでください。

2 Oリングを点検する。

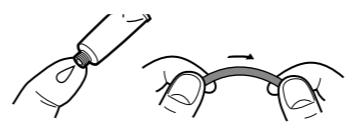
- 以下の点を充分確認して、柔らかい布かティッシュペーパーで必ずこれらを取り除いてください。
  –ゴミ、砂粒、毛髪、ほこり、塩、糸くずなどが付着していないか
  –古いグリスが残っていないか

▲ゴミ　▲砂粒　▲毛髪
▲ほこり　▲塩　▲糸くず

- 目に見えないゴミなどが付着していることもあるので、指先で触って点検してください。
- Oリングを拭き取る際、布やティッシュペーパーの繊維が残らないように気をつけてください。
- Oリングにヒビ割れ、ゆがみ、つぶれ、さざくれ、傷、砂かみなどがないか確認し、ある場合は必ず交換してください。

▲ヒビ割れ　▲ゆがみ　▲つぶれ
▲ささくれ　▲傷　▲砂かみ

3 Oリングの溝を点検する。

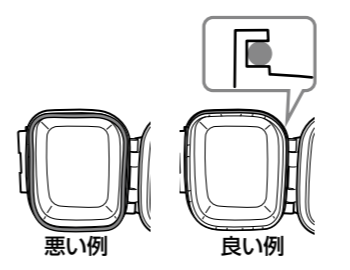
砂粒や乾いて固まった塩が入りこんでいる場合があるので、エアースプレーで吹き飛ばしたり、綿棒を使って、丁寧に取り除いてください。綿棒の糸くずがはいらないように、ご注意ください。

4 Oリングの反対側の接触面も同様に点検する。

5 Oリングにグリスを塗る。

- 上の図のようにOリングに**米粒大のグリスを**、指の腹で全体に薄く均一に塗ってください。
- 紙や布は、繊維が付着することがあるので、使わないでください。
- Oリングの表面には、いつも薄くグリスがついているようにしてください。グリスはOリングを保護し、摩耗を防ぎます。
- グリスを塗り終えたOリングは、机上などに置かずにそのまま溝に取り付けてください。

6 Oリングを溝に取り付ける。

以下の点に注意して、Oリングを溝に均等に入れてください。
–Oリングにゴミなどが付着していないか
–Oリングがねじれていないか

悪い例　良い例

水漏れの確認方法

Oリングの交換後は、ご使用の機器を収納する前に、本機を閉じて、水中(約15 cm)に約3分間沈めて、水漏れがないことを確認してください。

お手入れ

Oリングの溝に海水が入ったまま乾燥してしまうと、塩の結晶ができてしまい、Oリングの機能を損なう恐れがあります。

Oリングの耐用年数

本機の使用頻度や保存状態によって変わりますが、1年程度です。傷やヒビがなくても変形や摩擦により、防水機能は落ちてきます。ヒビ割れやゆがみ、つぶれ、ささくれ、傷、砂かみなどの症状がでたら、新しいものと交換してください。
交換後に、水漏れしないことを確認してください。

グリスについて

グリスは付属のグリスをお使いください。他社のグリスを使うと、Oリングを傷めて、水漏れします。

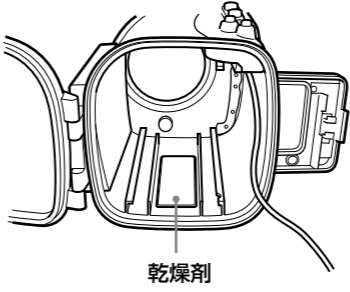
くもり止めリキッドについて

本機のフロントガラスに付属のくもり止めリキッドを塗布すると、くもり止めに効果があります。

- くもり止めリキッドの使用方法
  フロントガラスの内側に2〜3滴たらして、コットン、柔らかい布、ティッシュペーパー等でクリーナー液が均等に広がるように拭いてください。

乾燥剤について

くもり止めリキッドに加え、さらにくもり止め効果を高めたい場合、付属の乾燥剤を合わせてご使用ください。新しい1枚を撮影の1〜2時間前に入れてください。フロント内の台座レールの間に入れ、台座でかみ込まないようご注意ください。未使用の乾燥剤は袋に入れ、入り口を密封して保存してください。使用後のものは元の袋に戻さないでください。未使用のものでくもり止め効果がなくなります。
乾燥剤は充分に乾燥させることにより、繰り返し約200回使用することができます。
くもり止め効果を高めるため使用する場合は、新しいものをお使いください。本機の中に入れたままにしないでください。

乾燥剤

Oリング、グリス、くもり止めリキッドのお問い合わせ(ご購入について)

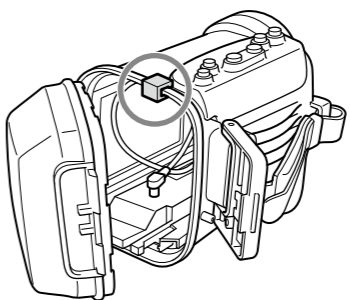
ソニーの相談窓口にご相談ください。
Oリング(番号3-098-143-01)
グリス(番号2-582-620-01)
くもり止めリキッド
(番号3-072-039-01)

お手入れのしかた

- 海でのご使用後は、必ず、バックルをはずす前に真水(水道水など)で洗い、塩分や砂をおとしてから、乾いた柔らかい布で水分を拭き取ってください。30分程度、真水に浸しておくことをおすすめします。
  塩分がついたままにしておくと、金属部分が傷ついたり、さびたりして、水漏れの原因になることがあります。真水に浸しておくときは、他の機器にぶつけたりしないようご注意ください。水圧が低く、Oリングのたわみが小さい状態で過大な衝撃を加えると、水漏れの原因になることがあります。
- サンオイルなどが付着したときは、ぬるま湯でよく洗い流してください。
- 本機内部は、乾いた柔らかい布で拭き、水洗いはしないでください。

上記のお手入れは本機をご使用のたびに必ず行ってください。
シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、使わないでください。

保管するときは

- Oリングの劣化を防ぐため、お買い上げ時に付いていたスペーサーを取り付けてください。

- Oリングの劣化を防ぐため、ボディを閉じたあとバックルは締めないでください。
- Oリングにホコリがつかないようにしてください。
- 高温、寒冷、多湿な場所や、ナフタリン、しょうのうなどを入れている場所での保管は、機材を傷めますので避けてください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
"故障かな？と思ったら"の項を参考にして故障かどうかお調べください。

それでも具合の悪いときは
ソニーの相談窓口へご相談ください。
ご相談になるときは次のことをお知らせください。
●型名：SPK-HCF
●故障の状態：できるだけ詳しく
●お買い上げ日

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証書は国内に限られています
付属している保証書は、国内仕様です。外国で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。当社では本機の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。

Oリング、グリス、くもり止めリキッドについて
ご購入はソニーの相談窓口にご相談ください。
ご購入されるときは、品名、番号をご連絡ください。
Oリング(番号3-098-143-01)
グリス(番号2-582-620-01)
くもり止めリキッド(番号3-072-039-01)

よくあるお問い合わせ、解決方法などは、ホームページをご活用ください。　**http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口
フリーダイヤル‥‥‥‥‥‥‥‥0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥ 0466-31-2511
受付時間 月〜金：9:00〜18:00
土･日･祝日：9:00〜17:00

修理相談窓口
フリーダイヤル‥‥‥‥‥‥‥‥0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥ 0466-31-2531
※取扱説明書･リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。
受付時間 月〜金：9:00〜20:00
土･日･祝日：9:00〜17:00

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
「400」+「#」
を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX (共通) 0120-333-389

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

スポーツパックを使う

準備する

1 本機にカメラを取り付ける。

「スポーツパック準備ガイド」をよくお読みのうえ、手順に従って取り付けてください。

2 電源を入れる。

本機のPOWERボタンを押すと、カメラ／本機の電源が入ります。カメラは動画撮影モードになります。

ご注意

撮影スタンバイが5分以上続くと自動的に電源が切れます。これはバッテリーの消耗を防ぐためです。この機能は、カメラ側で「自動電源オフ」を「なし」にすることができます。詳しくは、お使いのカメラの取扱説明書をご覧ください。

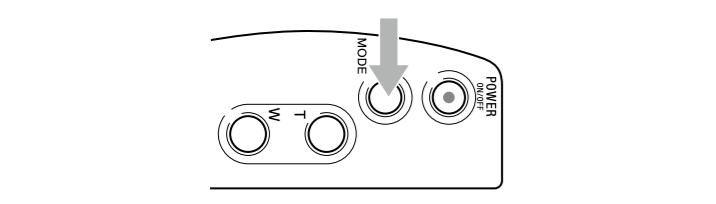
撮影スタンバイに戻すには、POWERボタンを押して再度「ON」にしてください。

3 カメラのモードを設定する。

MODEボタンを押すと、カメラのモードが下記の順で切り替わります。

→ 動画撮影モード → 静止画撮影モード → 画像再生モード

開閉式ミラーでカメラの液晶画面を確認しながら、カメラがご希望のモードになるまでMODEボタンを押して切り換えてください。

カメラの各モードについて、詳しくはお使いのカメラの取扱説明書をご覧ください。

カメラによっては、静止画撮影モードでの動画撮影や動画撮影モードでの静止画撮影ができます。

詳しくはカメラの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- MODEボタンを押したとき、フォトボタンのないカメラでは、

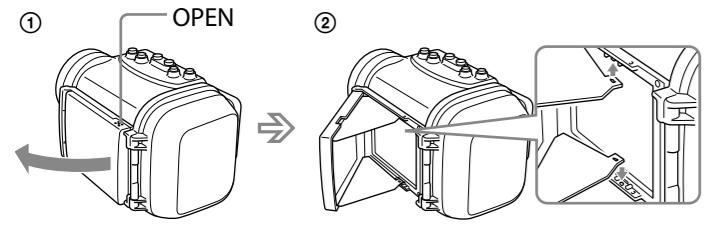
  → 動画撮影モード → 動画撮影モード → 画像再生モード

  の順で切り替わります。
- 動画撮影中にモードボタンを押さないでください。モードボタンを押すと動画撮影が停止し、静止画撮影に切り替わる場合があります。

開閉式ミラーを開く

開閉式ミラーに映る映像を見ながら撮影することができます。

① 「OPEN」部を持って、開閉式ミラーを開く。

② 上下の羽を広げ、羽の穴を固定用の凸部にはめ込む。

開閉式ミラーを閉じるときは

上下の羽の固定をはずし、下の羽から閉じます。

撮影する

動画を撮影する

動画をテープ、"メモリースティック デュオ"、ディスク、ハードディスク、内蔵メモリーに記録します。

1 MODEボタンを押してカメラを動画撮影モードにする。

2 START/STOPボタンを押す。

撮影が始まります。

撮影を止めるには

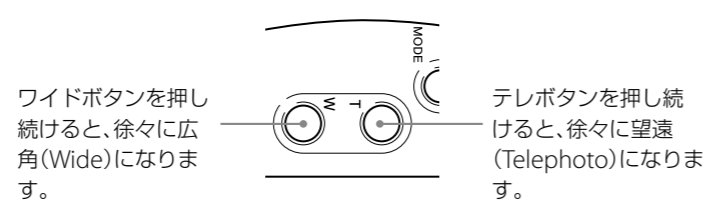
START/STOPボタンを押します。

もう一度、START/STOPボタンを押すと撮影が開始されます。

電源を切るには

撮影を止めた状態でPOWERボタンを押して「OFF」にします。

ズーミングのしかた

速度が2段階に変化します。

軽く押すとゆっくりズーミングし、さらに押すと早くズーミングします。

静止画を撮影する

静止画を"メモリースティック デュオ"、ディスク、ハードディスク、内蔵メモリーに記録します。

1 MODEボタンを押してカメラを静止画撮影モードにする。

2 PHOTOボタンを軽く押す。

液晶画面表示の緑の●が点滅から点灯に変わり撮影可能になります。

＊この状態では、画像は記録されていません。

3 PHOTOボタンを深く押す。

PHOTOボタンを深く押したときの画像が記録されます。

カメラによっては、デュアル記録ができます。詳しくはカメラの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

① 本機を使ってナイトショット撮影等、暗闇で撮る機能を使用することはできません。

② 本機を使ってカメラの内蔵ライト機能、フラッシュ機能、テレマクロ機能を使用することはできません。

③ 本機を使ってカメラの手ブレ補正機能、顔検出機能、自動逆光補正機能、スポット(測光、フォーカス)機能、内蔵マイクを使用することはできません。

④ 本機を使って位置情報を取得するGPSは使用することはできません。

⑤ 動画、静止画の記録先を"メモリースティック デュオ"とハードディスクなど複数のメディアを選べるカメラがあります。詳しくはカメラの取扱説明書をご覧ください。

⑥ "メモリースティック デュオ"には複数の種類があり、カメラによって対応している種類が異なります。詳しくはカメラの取扱説明書をご覧ください。

⑦ カメラによっては、"メモリースティック マイクロ"をご使用になることができます。"メモリースティック マイクロ"をご使用になる際は、必ずカメラの取扱説明書にある使用上のご注意事項をよくお読みのうえでご使用ください。

画像を見る

カメラのリモコンを受光部(フロントの中央部)に向けて操作すると、液晶画面で画像をみることができます。

音声は聞こえません。

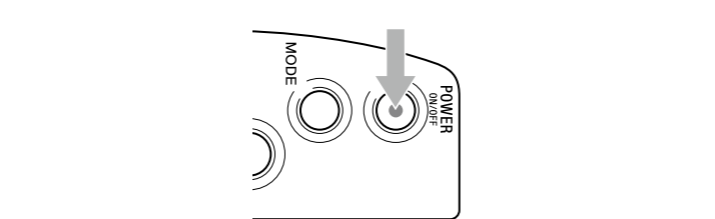
その他の操作も全てリモコンで行ってください。詳しくはお使いのカメラの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

カメラのメニュー 「リモコン」を「切」にしている場合、リモコンでの操作はできませんので、「入」にしてください。

リモコンを付属していないカメラではこの機能はお使いになれません。

ビデオカメラを取りはずす

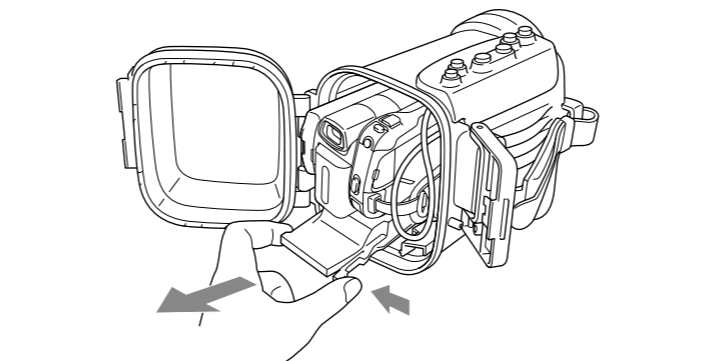
1 POWERボタンを押して電源を切る。

2 バックルをはずして、リア部を開ける。

別紙の「ビデオカメラを取り付ける」の手順1を参照してください。

ご注意

本機を開けるときは、本機と体についた水分を充分に拭き取ってから開け、水滴が内部のカメラにかからないようにしてください。

3 台座を引き出す。

台座の片側のノブを押さえるようにしてつかみ、ロックをはずしカメラをゆっくりと引き出します。

4 カメラに取り付けたプラグがフロント部の外に出てきたところでいったん止め、プラグをはずす。

ご注意

音声/リモートプラグのプラグ部を持って確実にはずしてください。

コード部を持って抜いたり、プラグがはずれていない状態で台座を引き出すとプラグやカメラの端子の破損の原因となります。

5 台座を取りはずす。

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう1度点検してみましょう。

それでも正常に作動しないときは、ソニーの相談窓口へご相談ください。

□音声が記録されていない

→カメラのA/V端子、A/V OUT端子またはA/Vリモート端子に音声/リモートプラグをしっかりと差し込む。

□本機に水が入る

→バックルをカチッとロックされるまで締める。

→Oリングを正しく装着する。

→Oリングにキズ、ヒビ割れが入っている場合、新しいものと交換する。

□撮影ができない

→バッテリーを充分に充電する。

→カメラのA/V端子、A/V OUT端子またはA/Vリモート端子に音声/リモートプラグをしっかりと差し込む。

→テープが終わりになっている場合、別のカセットを入れる。またはテープを巻き戻す。

→"メモリースティック デュオ"の残量がない場合、別の"メモリースティック デュオ"を入れる。または不要なデータを消す。

→カセット、"メモリースティック デュオ"の誤消去防止つまみ、スイッチを戻す(つまみ、スイッチのある場合)。または別のカセット、"メモリースティック デュオ"を入れる。

→ディスクの空き容量がない場合、新しいディスクを入れる。または初期化する(DVD-R、DVD+R DLをお使いの場合を除く)。

→ディスクがファイナライズされている場合、ファイナライズ解除する(DVD-R、DVD+R DLをお使いの場合を除く)。

→ハードディスクの空き容量がない場合、不要なデータを消す。

□電源が入らない

→電源を入れてから撮影可能になるまで数秒かかるカメラもありますが、故障ではありません。

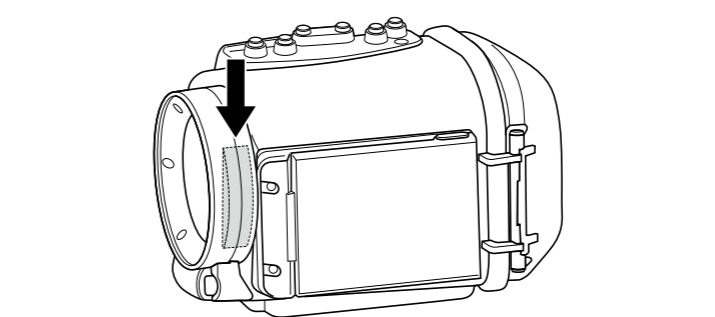
→電源を切った直後は電源が入らないため、カメラの液晶画面が消えてから数秒以上おき、再度電源を入れる。

→電源を切ってからカメラのランプがしばらく点滅する場合は、ランプが完全に消えてから2秒以上おき、再度電源を入れる。

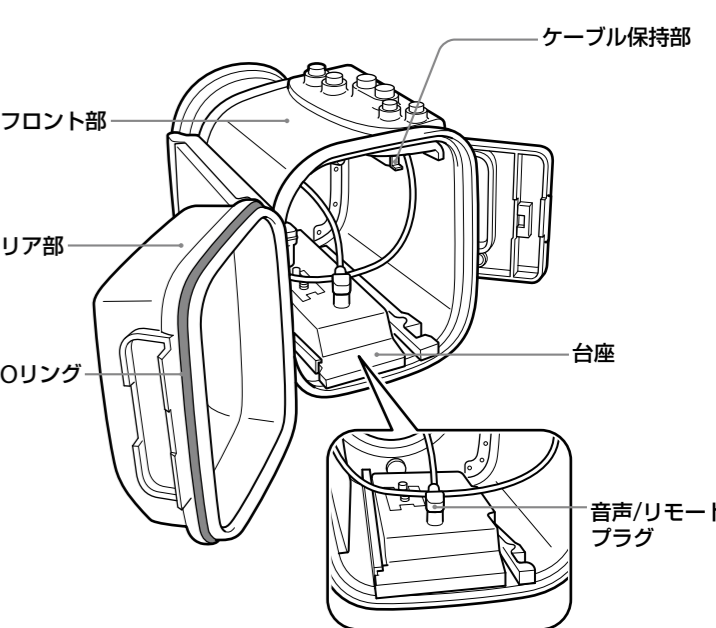
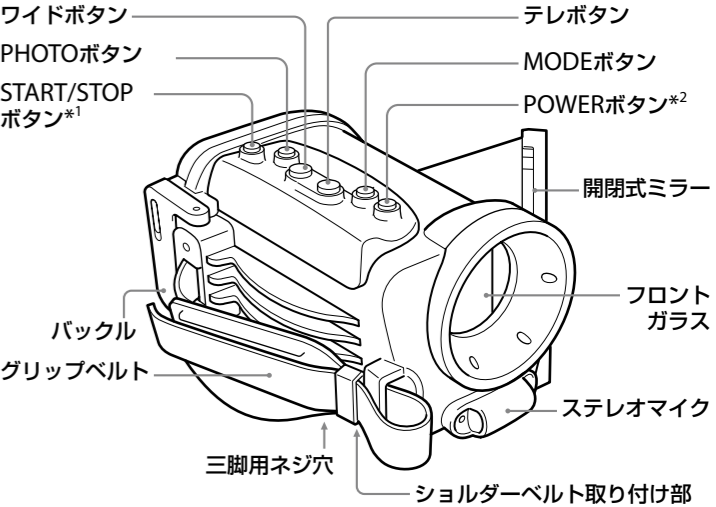
□電源が切れない

→電源を切ってからカメラのランプが点滅して消えるまで数秒かかるカメラもありますが、故障ではありません。

□本機に水が入っているように見える

→本機の下図位置には空洞があり、ここには海水、水が流入、排出する構造になっています。この空洞部分は内部と遮断されており、水滴が付いていても、故障ではありません。

□本機のボタンが重い／引っかかり感がある／戻りが遅い

→ボタンの内部にはOリングが入っているため、時間をおいてのご使用開始時はこのようになることがありますが、故障ではありません。

各部のなまえ

*1 START/STOPボタンには、ボタン上面に赤いマークが付いています。

*2 POWERボタンには、ボタン上面に緑のマークが付いています。

主な仕様

材質

プラスチック(PC、ABS)、ガラス

防水構造

Oリング、バックル

耐圧

水深5 mまで

外部より操作可能な動作

撮影・再生時の電源入／切、録画開始／停止、フォト操作、ズーム操作

外形寸法

約159×148×220 mm
(幅／高さ／奥行き)

質量

約960 g(本体のみ)

同梱物

ウォータープルーフケース(1)
ショルダーベルト(1)
台座D(1)
台座F(1)
台座G(1)
台座H(1)
台座I-2(1)
台座J(1)
台座K(1)
台座L(1)
三脚ネジプレート(1)
反射防止リング(M30 × ⌀43)(1)
反射防止リング(M30 × ⌀47)(1)
反射防止リング(M30 × ⌀50)(1)
反射防止リング(M30 × ⌀58)(1)
反射防止リング(M30 × ⌀62)(1)
反射防止リング(M37 × ⌀55)(1)
グリス(1)
スペーサー(1)
くもり止めリキッド(1)
乾燥剤(1)
印刷物一式

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますがご了承ください。